

熊本 県大COC通信

熊本県立大学
COC推進室

くまもと県南フードバレーフォーラム（八代）

「スタートアップ情報交換会」開催

9月24日、八代市千丁公民館で「くまもと県南フードバレーフォーラム・スタートアップ情報交換会」が開催されました。定員を大幅に超える約200人の参加者が、県南フードバレーの現状や本学の地域連携事業等の説明と、本学の教員による研究内容のプレゼンテーションに熱心に耳を傾けていました。

このフォーラムは、農水産業者・商工業者と行政機関、それに教育研究機関である本学が、地域のニーズの把握と、研究開発に必要な技術シーズの提供や共同研究などを通じて、更に連携した取組を推進させ、新たなビジネスの創出につなげることを目的に行われました。本学と「くまもと県南フードバレー構想」の重要拠点となる

八代市が共催。本学から教職員



主催者あいさつをされる
中村博生・八代市長

23人と学生・大学院生12人が参加しました。



八代市や熊本県の職員、
一般市民など約200人が参加

教員4人、研究発表

フォーラムでは、本学の古賀実学長と八代市の中村博生市長による主催者挨拶のあと、熊本県における「県南フードバレー事業」の現状と、八代市におけるフードバレーの現状と今後の方向性についての説明、それに本学のフードバレー推進に向けた取組の説明があった後、本学環境共生学部の白土英樹教授、総合管理学部の宮園博光教授、澤田道夫准教授、それに地域連携・研究推進センターの渡

邊准教授がそれぞれ研究発表を行いました。

パネルディスカッション

参加者から質問も

この後、地域連携・研究推進センター長兼COC推進室長の松添直隆・環境共生学部教授がコーディネーターとなってミニ・パネル



フロアの参加者の質問に答える
4人の熊本県立大学の報告者

ディスカッションが行われ、大学の役割や地域との関わり方について、会場の参加者との意見交換が行なわれました。参加者の感想に「シーズをどう生かすかが今後の課題だ」との意見がありました。

「くまもと県南フードバレーフォーラム ～スタートアップ情報交換会」発表テーマ

○環境共生学部・白土英樹教授

「野菜及びその加工品中の機能性成分の解析と健康機能性食品の開発を目的とした熊本県産農産物の機能性評価について」



○総合管理学部・宮園博光教授

「ICTを活用した農業における情報発信及び農産物販売支援システムの研究」



○総合管理学部・澤田道夫准教授

「八代市中心市街地活性化プロジェクトについて」



○地域連携・研究推進センター・渡邊純子特任准教授

「自治体と連携した熊本県立大学の食育の取組みについて」
(高森町とのケース)



ポスターセッション参加テーマ

○環境共生学部・松添直隆教授、栗屋直子氏、塚田千尋氏

「加工調理用トマトの総合的な食味評価に関する研究」

○環境共生学部・友寄博子講師、松添直隆教授

「エゴマ種子およびエゴマ油の栄養化学的評価に関する研究」

○環境共生学部・南 久則教授

「県産農産物を活用した低GI(グリセミックインデックス) 献立の開発」

○環境共生学部・福島英生教授、高野 優助手、総合管理学部・森 美智代教授、まちなか活性化協議会・江崎博美氏、八代市商工観光部・野口浩明氏

「商店街活性化と地域住民の健康作りプログラム評価
～テクテク歩こう商店街「減量チャレンジ宣言」」

○総合管理学部・澤田道夫准教授

「八代中心市街地活性化プロジェクト」

○地域連携・研究推進センター

「熊本県立大学における食育推進の取組」

